

## 市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成22年1月14日(木)午後7時00分～午後8時50分		
会場	栄町公民館	出席者数	24人 (男20・女4)
地域座談会の内容(市長講話・質疑応答の内容等)			
<p>市長講話</p> <p>「寒河江市を巡る情勢」の資料を用いて講話</p> <p>「景気・雇用対策」「少子高齢化対策」「財政健全化の取り組み」を中心に講話。</p> <p>&lt; 質疑・応答 &gt;</p> <p>(質問・意見)</p> <p>1 「財政健全化への取り組み」の中の「実質公債比率」の下にでも、職員数を表示すると良かったのではないのでしょうか。</p> <p>この実質公債比率の数字の中には、消防署などの西村山広域行政事務組合分も入っているのですか。</p> <p>クリーンセンターの処理場分については、寒河江市だけ負担しているのですか。</p> <p>(回答：市長)</p> <p>職員数は必ずしも少ない方が良いという訳ではありませんが、県内13市のなかでも山形、天童に次いで、寒河江市は少ない方です。今、新たな行財政改革の指針を検討しています。そして今年度中に公募委員も含む10人程度の市民参加の委員会を開き議論していただき、行財政改革の指針等を取りまとめていく予定です。</p> <p>この実質公債比率等の数字は、市の一般会計分です。市町村で独自で消防を持っていたり、自治体でまちまちですから、一つの指標として、一般会計分を対象としています。広域行政分なども含めて、全体で職員数を比較することが現在難しい状況ですが、検討していきたいと思えます。</p> <p>寒河江西村山全体で、均等割、人口割、標準財政規模割など3つか4つの指標に基づいて分担金を毎年毎年負担しています。</p> <p>(質問・意見)</p> <p>2 自転車やバイクに乗っているとどうも寒河江の道路がでこぼこで危険です。天童市は非常に良いと感じます。補修をきちんとしてほしい。ま</p>			

た、街路樹はあまりに大きくなり暗く感じるところもある。今年はだいぶ枝打ちがされてこんなにも天空が広いものなのだと改めて感じました。

(回答：市長)

道路の陥没など怪我をしたら、道路の管理者の責任となります。市道であれば市に管理者賠償責任があるので、きちんと直していきたいと思えます。春先になったら悪くなっている箇所を教えて欲しい。優先的に補修していきたいと思えます。また、街路樹については21年度に剪定しましたが、22年度は公園の樹木の剪定も計画しています。要望があれば、ぜひお話ししていただきたい。

(質問・意見)

3 将来の人口予測は大幅に減少するとのことですが、こうした状況を踏まえ、以前検討した市町村合併についてどのように考えているのですか。

市道西根高屋線の高速道路以南の拡幅の予定はどのようになっていますか。

昨年の暮れに、栄町で大きな火災がありましたが、消防後援会として炊き出しなどの災害対処のノウハウが徹底されてなく、戸惑ってしまう面がありました。公民館ごとにでも災害対処ノウハウの講習会等を開いてもらえないでしょうか。

(回答：市長)

市町村合併は将来的には避けて通れない課題だと思っています。前回は最終的に住民が合併に「NO」を出したものですから、首長が代わったからといってすぐに議論できるというものではないと思っています。一番大事なのは、住民の意思が合併に向かって高まっていくことです。最後には、住民のみなさんにアンケートを取って意思を確認することになるわけですから。しかし、今の段階ではまだ難しい時期にあるということのも事実であると思えます。ではどうすれば良いのかということですが、朝日町、大江町、西川町、河北町と消防、ごみ、観光、飛び地など個別具体的な施策で連携を図ったり、課題を解決していくことが大事だと考えています。ひとつひとつの広域的な課題解決が合併につながっていくものと考えています。

当面は、待避所を何箇所かに設置しすれ違いができるようにすることとしています。将来的には拡幅をしていきたいと考えています。

市では、自主防災組織の結成を呼び掛けています。県内では組織率が6割程度になっていますが、災害が少ない地域であるとの認識から、市内の結成率は約4割ほどです。いざという時に一番身近な地域の組織で対応できるようにと考えているものです。町内会などの組織にご苦勞をおかけすることもあると思えますが、是非地域にこの自主防災組織を立ち上げていただき、万が一に備えていただきたいと考えています。

(質問・意見)

4 街路樹が多すぎて暗いし、場合によっては目的の入り口が探しづらい状況があります。管理費も掛かりますし、少なくしてはどうでしょうか。

(回答：市長)

最初は喜んでいただいていたと思うのですが、樹木が大きくなり伐採も経費がかさみ思うようにできなくなってきたわけです。21年度は街路樹の伐採などもしてきたわけですが、これからは、国道でも中央分離帯に植栽しなくなったり手間の掛からない方向になってきているようです。しかし、ある程度緑もあって紅葉もして街がきれいな状況が必要な部分もあり、全体としてのバランスを取ることが必要だと思います。ただ、今ある木は育ち過ぎなどということもありますので、伐採をしながら、さらにこれから植栽する場合は、都市空間の10年後20年後の管理を想定しながら検討していきたいと思います。

(質問・意見)

5 中学校給食の実現について、現在どのようなところまで進んでいるのでしょうか。

(回答：市長)

12月20日号の市報で教育委員会の検討状況についてお知らせしていますが、現在、実施することを前提に実施方法について検討中です。例えば、「自校炊飯方式」「親子方式」「共同調理方式」「外部委託方式」などです。1月いっぱいをめどに寒河江にふさわしい方式を詰めて、来年の4月実施を目標に準備を進めていきたいと考えています。

(質問・意見)

6 仕事の関係で約20年ほど寒河江市を客観的に市外・県外から見てきました。昨年寒河江に戻ってきて1年間生活をしてみて、「市民の公共心・マナーの悪さ」と「情報発信力の弱さ」が目につきます。雪が融けると分かります。ゴミのポイ捨てのマナー向上には市報等で長期間のキャンペーンを張ってはどうか。さらに、さくらんぼをはじめとする行事・記事等の情報を、徹底的にマスコミを巻き込みながら提供していくことが必要ではないでしょうか。

(回答：市長)

貴重なご意見ありがとうございます。マナーの問題については私も感じております。市民のみなさんには年に何回かボランティア活動などをしていただいておりますが、おっしゃるように市報などでキャンペーンを張ることが必要だと思います。寒河江に県外等から来ていただくということが活性化につながるわけですから、きれいな状態でお迎えするためにも、クリーン作戦などは充実していかなければならないと考えてい

ます。さらに、情報発信力についてですが、さくらんぼなどの素材の良さに胡坐を欠いていたかもしれません。是非挽回していきたい。寒河江の活性化を図るためにも、改めて情報提供をしっかりとしていきたいと思います。しかし、山形のさくらんぼについてはライバル関係を抜きにして一緒になってPRしていくことが大事であると思っています。

(質問・意見)

7 松枯れの被害がだいぶ出ているようですし、市内の主だった桜もかなり老齢化が進んでいるようです。昨年仙台寒河江会の発足があり、仙台からのお客を呼び込む上からも、経費も掛かるのですが、観光地となるようなところは、防除や植栽について検討していただきたいと思います。

二酸化炭素の削減の必要から、街路樹については、私は必要だと思いますが、イチョウやケヤキなどの大木となる樹種が多いようなので、庭木に適したものと枝打ちもさほど必要のない樹種を選ぶなどしていけば良いと思います。

(回答：市長)

松枯れについては、いたちごっこ状態で追いつかない状況にあるわけですが、多くの市民が憩いに訪れるような場所等については、出来るだけ防除をしていきたいと思います。仙台の市民が寒河江を訪れるような際には、四季折々の樹木が迎えるわけで自信を持っていいと思います。

街路樹については、出来るだけ低木を植えるなど工夫をしていきたいと思っています。

(質問・意見)

8 ふれあい広場のつつじやさつきの剪定を地元でしたが、うまくいかなかったので、2年に1回程度は専門家に手入れしてもらいたい。

市の一斉清掃以外の町内のボランティア活動によるゴミ拾いなどで集めたゴミを、指定袋ではなかったため回収されないとされた。指定以外の袋でも出せるように改善して欲しい。

最上川寒河江緑地の完成が間近かと思いますが、整備にいくらぐらいかかったのでしょうか。また、カヌーのレースをするの長さが足りるのでしょうか。大切な税金を投入しているのだから、市に有効に反映してもらえるようにしてほしい。

長岡山の今後の発展性についてどのように考えていますか。特に松枯れ、野球場、陸上競技場の整備などが考えられます。さらに、八幡公園から長岡山へと関連した桜祭りやさくらんぼ祭りで、市の中心部をもっと活性化してもらいたい。

市の財政は大丈夫か。

市の財政など市報で発表されるが、わかりづらい。市の借金などきち

んと教えて欲しい。

(回答：市長)

ふれあい公園の管理についてはいつもありがとうございます。来年度公園の樹木を中心に剪定・伐採をする予定です。

基本的には、ボランティア袋を使って分別して出していただきたいと思います。

整備には、約875百万円かかっております。カヌーは、競技人口がそれほど多いスポーツでないため、大会が数多くあるわけではありません。そこで、市民の皆さんが利用しやすい公園にしていかなければならないと思っています。詳細については、別途回答します。

市振興計画の見直しの中で、市の中心市街地の目玉として、長岡山全体の整備についてきちんと位置付けして検討していきます。

先の話のとおりで、厳しい状況ではありますが、持ち直しつつあります。(詳細は市長講話で説明)

先の話のとおりなので、詳細は省略した。(市長講話で説明)

(質問・意見)

9 市議会議員の皆さんに、自分たちの仕事を後世に残すためにも、業務日報を書いてもらってはどうか。

(回答：市長)

要望があったことを議会側にお伝えしておきます。

後日回答

8 への回答

最上川寒河江緑地は、平成24年度の完成に向けて整備を進めております。事業費は、平成20年度までに5億8千万円の事業を実施し、全体計画では、8億7千5百万円を見込んでおります。

広場については、市民のワークショップ等を開催して整備計画を練り上げ、ソフトボールや少年サッカーなどもできる緑地公園として本年度整備をおこなっています。

多目的水面広場は、日本カヌー連盟の指導を仰ぎながら国体や高校総体クラスのカヌーレースが開催できるコースとして整備をおこなっています。

現在、活発な利活用計画策定に向けて競技団体などの声をお聞きしているところです。